

日本とミャンマーのネットワーク接続をサポート

中国、東南アジア I P-V P N ネットワークサービス

ミャンマーに進出する企業のみなさま
日本とのネットワークどうしていますか？



国際インターネットは
不安定で
性能確保が難しい



費用を抑えたい



すぐに始めたい



手厚いサポートを
してもらいたい

ミャンマー向けエントリーVPNサービスで解決



接続の安定性及び性能確保を実現

「エントリーVPNサービス」は、インターネットVPNと弊社が提供する国際バックボーン回線を併用することで、国際インターネット回線のみを利用よりも回線の安定性や性能を確保することができます。



専用線で接続するよりも安価

お客様の利用条件や場所等によりませんが、日本とミャンマーをMPLS-VPN^(*1)サービス等の専用線で接続したときに比べて、費用を10%~50%に抑えられるケースもあります。



短納期で導入可能

お客様の利用条件や場所等によりませんが、多くの場合、1か月半~2か月程度を目安に導入可能です。



充実したサポート体制

日本とミャンマーを接続する回線及びVPN機器は24時間監視します。また、障害に関するお問い合わせは24時間受付、現地対応は平日9時から17時まで（現地時間）対応します。現地でのインターネット契約支援及び性能評価支援を多言語対応（英語、日本語、ミャンマー語）します。



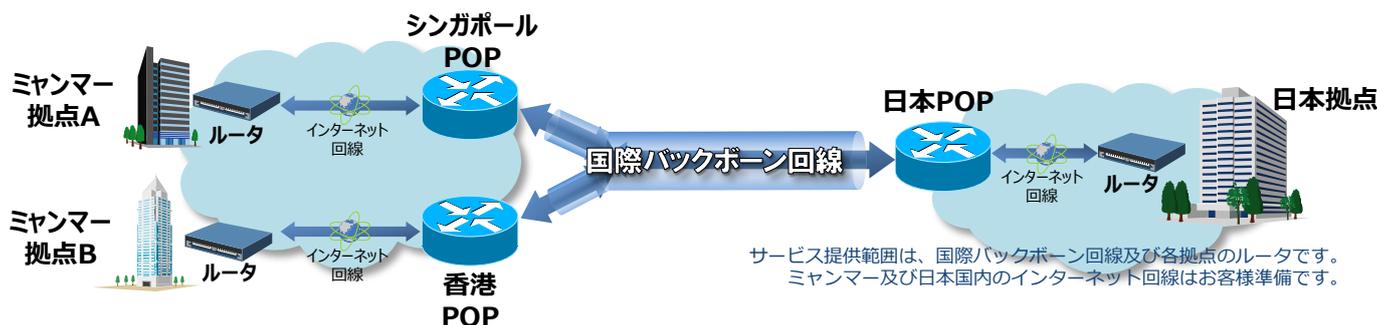
性能評価支援

サービスの導入に先立ち、ミャンマーのお客様拠点でのインターネット性能評価をお勧めします。弊社から評価方法をご案内しますので、専門的な知識は必要ありません。

(*1) MPLS-VPN : Multi-Protocol Label Switching-Virtual Private Networkの略

エントリーVPNサービスの構成

ミャンマーのお客様拠点から、弊社のシンガポールPOP(*2)または、香港POPまでインターネットVPNで接続します。各POPから日本POPまでは、国際バックボーン回線で接続し、日本のお客様拠点まではインターネットVPNで接続します。お客様の環境によりませんが、多くの場合、1か月半～2か月程度を目安として導入できます。



(*2) POP:Point Of Presence の略

エントリーVPNサービスの実績応答時間

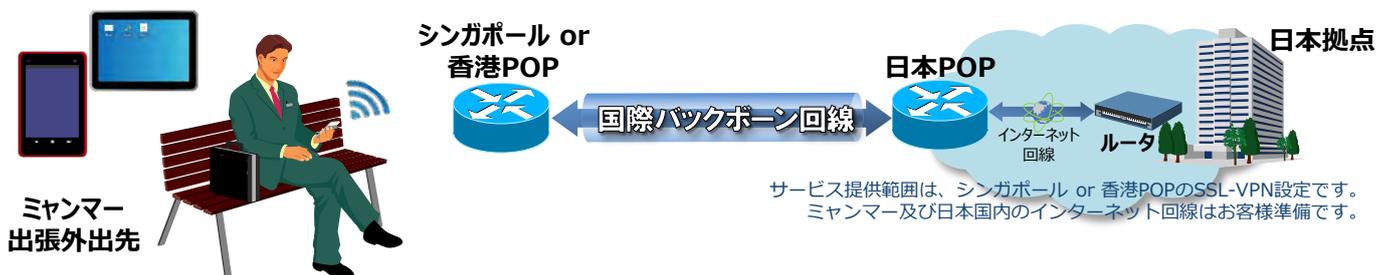
ミャンマー(ヤンゴン)のお客様拠点から、日本(東京)のお客様拠点までの平均応答時間(実測例)です。

構成	平均応答時間 (実測例)
<p>ヤンゴンソフトウェア開発拠点A → シンガポールPOP → 東京POP → 東京</p>	112ms ^(*3)
<p>ヤンゴンソフトウェア開発拠点A → 香港POP → 東京POP → 東京</p>	108ms ^(*3)

(*3) 回線性能はご利用のアクセス線(インターネット及びLAN)性能に左右されますので、導入に先立ちあらかじめご契約のインターネット品質をご確認ください。品質に応じ、インターネット回線の入れ替え、帯域の拡張等が発生する場合があります。

モバイル端末利用可能なオプションサービスも完備

オプションサービスの「SSL-VPNサービス(*4)」をご活用いただくことで、ミャンマーのお客様拠点だけでなく、ミャンマー国内から簡単にセキュアに、日本拠点にあるサーバへの通信を実現します。また、接続可能な端末は、PC端末に加えて、モバイル端末(*5)も対応しています。



(*4) SSL-VPN: Secure Socket Layer Virtual Private Networkの略。「SSL-VPNサービス」は「エントリーVPNサービス」の契約が前提です。
(*5) モバイル端末に必須なアプリケーションのインストールは、お客様作業です。

商標に関する表示

- 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
 - ※ 本カタログの内容は、2018年4月現在のものです。
 - ※ 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。
 - ※ 本製品を輸出される場合には、「外国為替及び外国貿易法」の規制ならびに米国輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
- なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。